

彙 報

第 60 回日本言語学会大会

法政大学において、昭和 44 年 6 月 7 日公開講演及び会員総会、6 月 8 日研究発表を開催。

1. 公開講演

圏外の精神 Hugo Schuchardt	亀 井 孝
現代と言語学	芳 賀 綏

2. 会員総会

- (1) 昭和 43 年度会計報告（別記）を承認した。
- (2) 昭和 44, 45 年度新役員について報告があった。

3. 研究発表

日・米語アクセントとイントネーションに関する一考察	杉 藤 美 代 子
ジョルジア語におけるアスペクト	下 宮 忠 雄
中国俗文学とその影響を受けた漢語について	
—敦煌変文と今昔物語を中心に—	朽 尾 武
モンゴル語における双数の痕跡	小 沢 重 男
自然言語における論理構造	西 山 佑 司
言語研究と認識論	野 林 正 路
ルーマニア語における形態音韻的構造の記述について	
	倍 賞 和 子
形態素と統語的操作	小 泉 保
行列内音韻特徴の相関関係	今 津 藤 一

第 23 回九学会連合大会

昭和 44 年 5 月 18 日聖心女子大学にて開催。テーマは「利根川流域」。
本会より加藤正信・井上史雄両氏が発表した。

昭和 44 年度第 1 回委員会

日時：昭和 44 年 4 月 23 日

場所：学士会本郷分館

出席者：（ ）内は委任状受託数

小林英夫，高津春繁 (11)，河野六郎，佐藤孝，柴田武 (1)，
鈴木孝夫，服部四郎 (2)，前田護郎
白紙委任 2 名 委員総数 31 名

議決事項：

1. 委員長・編集委員長選挙の開票を行い，委員長に柴田武氏，編集委員長に徳永康元氏が選出された。
2. 第 60 回大会について
 - (1) 運営委員長は佐藤孝氏。
 - (2) 日程細目を決定した。
 - (3) 研究発表者の選定を行った。
3. 5 月 19 日より 1 ケ年，当会が九学会連合の担当学会になるに伴い，九学会連合の事務局を当面国立国語研究所，理事を鈴木孝夫氏，飯豊毅一氏，徳川宗賢氏にお願いすることにした。

昭和 44 年度第 2 回委員会

日時：昭和 44 年 6 月 7 日

場所：法政大学

出席者：（ ）内は委任状受託数

泉井久之助，亀井孝，木村彰一，金田一春彦，高津春繁 (3)，小林英夫，佐藤孝，柴田武 (4)，鈴木孝夫，関本至，徳永康元 (1)，長谷川松治，前田護郎，三根谷徹，村山七郎 委員総数 31 名

議決事項：

- 1) 昭和 43 年度会計報告を別記の如く承認した。
- 2) 編集委員長（徳永康元氏）より次の 9 氏を編集委員に指名した報告があった。
亀井孝，川本茂雄，木村彰一，河野六郎，柴田武，鈴木孝夫，徳永康元，野上素一，三根谷徹
- 3) 44. 45 年度役員を下記の如く選出した。
会計委員 前田護郎，金田一春彦
東洋学研究連絡委員 河野六郎
文科系学会連合委員 佐藤孝，北村甫

- 4) 九学会連合の活動に関し鈴木委員より報告があった。
- 5) 会員名簿作成は来年度に延期することになった。
- 6) 第 61 回大会について
 - ①運営委員長は平岡洋一氏
 - ②運営委員として、早川介氏の他に委員長と幹事があたることになった。
 - ③日程の概略を決めた。

昭和 44 年度第 3 回委員会

日時：昭和 44 年 9 月 22 日

場所：学士会本郷分館

出席者：（ ）内は委任状受記数

亀井孝，金田一春彦，佐藤孝，柴田武（9）、鈴木孝夫，徳永康元，
服部四郎

白紙委任 2 名 委員総数 32 名

議決事項：

- 1) 秋季大会の公開講演者の研究発表者を決定した。
- 2) 秋季大会の日程細目を決定した。
- 8) 春季大会の開催候補地を成蹊大学とすることにした。
- 4) 役員制度小委員会を委員会の下に設けることにし、次回に具体化することにした。
- 5) 学術会議の語学文学研究連絡委員に本会からは前田護郎氏を選出した。
- 6) 九学会連合の活動について鈴木委員から報告があり、来年度の共同課題沖繩の研究発表者として外間守善氏，上村幸雄氏を推薦することにした。
- 7) 文科系学会連合の連文執筆者として野林正路を推薦したことを承認した。
- 8) 幹事風間喜代三氏の委員就任に伴い、同氏の幹事としての任務を解くことにした。
- 9) 学会事務局の現状について報告があり、今後のあり方について討論した。

昭和 43 年度決算

収入		支出	
前期繰越	485	刊行経費	827835
会費(現金)	405321	発送料	47620
” (振替)	655180	大会関係費	55640
雑誌売上	58000	通信費	60531
寄付金	0	事務用品費	10610
補助金	100000	九学会連合会費	10000
利息	6128	文科系学会連合会費	3000
		CIPL 会費	36350
		雑費	172475
計	1225114	計	1224061
		差引残額	1053

本誌は文部省科学研究費補助金の援助を得て刊行されたものです。